

2016年12月27日
(改訂日:2017年4月10日)

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HP NonStop Server の不具合に対する弊社製品への影響について

HP NonStop Server 上で弊社製品を使用する場合、下記の留意点がありますので、内容をご確認の上、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

－ 記 －

1. 留意点

NonStop ServerのFIFOファイルアクセスの不具合によりFIFOファイルのREAD/WRITE処理が正常に行われなくなり、HULFTの配信に関する処理、および配信デーモン停止処理が実行できなくなります。

NonStop Serverの不具合の詳細は日本ヒューレット・パッカード株式会社にご確認ください。

2. 対象製品

HULFT7 for NSK Ver.7.0.0 ～ 7.0.1A

HULFT5 for Himalaya NSK Ver.5.0.0 ～ 5.0.9

3. 発生条件

上記対象製品に対して下記(1)、(2)の条件をすべて満たした上で(3)の処理を実行した場合に発生します。

(1) 特定のNonStop Server OSバージョンを使用している

H06.25.00 - H06.29.01

J06.14.00 - J06.19.02

(2) FIFOファイルに対して、READ回数が 2,147,483,648 回に達した

※ HULFT では、ユーティリティ 1 回の実行に対し、FIFO ファイルに対して 1 回の READ 処理が発生します。また、FIFO ファイルに対して毎秒 1 回の READ 処理（ポーリング）が発生します。

(3) 下記ユーティリティを実行する

- 配信要求コマンド (utlsend)
- 再配信要求コマンド (utlsend -r)
- 配信キャンセルコマンド (utlscan)
- 再配信待ちリストの削除コマンド (utlresendrm)
- 配信デーモン終了コマンド (utlkillsnd)
- 送信要求コマンド (utlrecv)
- 再送要求コマンド (utlrecv -r)
- 受信可能要求コマンド (utlrecv -a)
- 未配信状態キューへの設定値変更 (utlschange)

4. 弊社製品への影響

本現象が発生した場合、3. (3)に記載のユーティリティは必ず処理エラーとなり、処理は実行されません。

本現象発生後は、「5. 回避方法」の手順を実行するまで継続して現象が発生します。

5. 回避方法

(1) HULFT7 for NSK 7.0.1以降のバージョンをご利用の場合

定期的に FIFO ファイルを削除し、utlkillsnd --recover コマンドを実行してください。

(2) HULFT7 for NSK 7.0.0A以前のバージョンまたはHULFT5 for Himalaya NSKをご利用の場合

定期的に配信デーモンを再起動し、FIFOファイルを再作成してください。

※ 上記操作が必要な頻度は、システムの運用状況により異なります。3. (2)の発生条件を確認の上、システムの運用状況に応じて適切な頻度での回避方法実施を検討お願いします。

6. NonStop Serverの対処方法

日本ヒューレット・パッカード株式会社から提供されているSPRを適用します。

現在確認されているSPR番号は以下の通りです。

T8624H06 AAT

以上

改訂履歴】

2016年12月27日	初版作成
2017年 4月10日	・「5. 回避方法」のバージョン表記を修正